

地味だが確実な歩みを^(※1)高普第6回卒 今野 鉄男^(※2)

高校6回生の名簿を見てみると、素直にいて各界で華々しい活躍をしている者は見当たらない。強いて挙げれば、東京では、東京大教授の針生清人^(※3)、東京生命の伊東章^(※4)、日本電熱の梅田孝敬^(※5)、大日本インキの奥村晃三^(※6)、民社党本部の阿部翰靖^(※7)、陸上自衛隊の桑葉芳^(※8)等であろうか。

地元相馬では、相馬市会議員の佐藤邦房^(※9)、仙台屋の亀谷伸顕^(※10)、ケンコウ薬局の丸山啓四郎^(※11)、岡崎染物店の岡崎孝蔵^(※12)、相馬市農協理事の渡部敏綱^(※13)等は、地元において地元発展のために、目立たないが着実な歩みをしている。

また、我等6回生の中には、地味の典型(?)の教員が多いのが目につく。東京の尾沢弘恒^(※14)、神奈川の桑折陽一^(※15)、千葉の森屋博夫^(※16)、埼玉の今野裕人^(※17)、福島の水恒利^(※18)、岡田七五三^(※19)等は高校の教育現場で頑張っている。中学、小学校の教育現場でも多くの同期生が次代を担う若者の教育に専念している。

時代は変わっても、家庭や地域社会、職場でしっかり根をはり、それを足場に、それぞれの分野で目立たないが着実な前進をしている我々6回生の生き方を21世紀にも続けてほしいと思う。

(母校教諭)

(※1) 創立90周年記念誌『紅の旗』(1988(昭和63)年9月発行) 100周年に向けて「我等OBも頑張っているぞ!」より。

(※2) 昭和29(1954)年卒、上真野出身。昭和58～平成8年・相高教諭:英語。

(※3) 高普第6回、昭和29(1954)年卒、中村出身。

以下(※4)～(※19)も、すべて、高普第6回、昭和29(1954)年卒の方々である。

(※4) 大野出身。 (※5) 上真野出身。

(※6) 鹿島出身。第11代馬城会長。馬城かわら版 第150号に「汽車通学の残映」及び「創立百二十周年を迎えて」掲載予定。

(※7) 新地出身。 (※8) 大野出身。

(※9) 中村出身。 (※10) 中村出身。

(※11) 中村出身。 (※12) 中村出身。

(※13) 大野出身 (※14) 飯豊出身

(※15) 上真野出身。 (※16) 日立木出身。

(※17) 八沢出身。

(※18) 大野出身。馬城かわら版 第147号「広く世界に目を向けて、相互理解や協力を努めよう」に掲載。

(※19) 中村出身。